

市長が行く

今回の水害について



茂原市長 田中豊彦

台風26号で被害に遭われた皆様に、改めて心からお見舞い申し上げます。11月19日現在の被害の状況は、別表のとおりになっております。

水害対策については、県が河川激甚災害の指定を受けて、平成元年に156億円、平成8年に165億円の交付金を投入し、堤防のかさ上げをしたり、調節池を3か所作ったりしたことにより、平成8年の災害と同規模の雨量(二日約280mmから300mm)に十分耐えられる河川改修をしてあると聞かされておりました。ところが、今回またこのような水害が起こってしまったことにより、平成8年当時の検証が現場の状況を本当に反映したものだったのか、非常に大きな問題が提起されたとは私は考えております。

市民の皆様からは、市役所は何を検証したのかと、お叱りの声を多くいただきました。今回の水害は、過去にも

被害を受けているところがほとんどで、もう3回目だということとで、怒りをぶつけてこられる方もいらっしやいました。弁解をするようですが、市内を流れている2級河川は県の管理下にあり、対応は県の担当者がすることになっております。当時どのような検証がなされたのか、当時の県および市の関係者しかわからないことで、現在の市の職員は皆、十分な改修がされていると信じていたと思われる。一方において、今回の市役所の対応は非常に素早かったと、感謝の声もたくさん寄せられました。私は職員たちの頑張りを誇りに思っております。いずれにせよ、今は今後の対策をできるだけ速やかに考えなければなりません。最近の大型化した台風が、また来年も襲ってくることは十分考えられるからです。

11月15日に、さいたま市にある国土交通省関東地方整備局の河川部長に今回の窮状を訴え、ただちに今回の水害について検証し、抜本的な対策を打って

ただくとともに、このような水害が二度と起らないように、千葉県に対して、国への積極的な働きかけをお願いしてきたところです。11月19日には、知事に直接お会いして、個人的な所見も交えいくつかの要望をしまいいりました。

今回の災害で、行政が支出した額は約3億5千万円になります。大変な額ですが、財政調整基金を積んできたことが、いかに大事な事実感したところですよ。

別表 被害状況 (11月19日17時現在)

種類	件数	種類	件数
床上浸水	543棟	道路損壊	13カ所
床下浸水	625棟	道路冠水	47カ所
家屋半壊	6棟	がけ崩れ	10カ所
家屋一部損壊	30棟	倒木	37カ所